




▶ 3. 設備概要

本工事対象建築物の設備概要は下記のとおりとする。  
 なお、改修工事にあつては改修工事後の設備概要を示し、本工事の対象となっていない設備については記載していない。

引込（電力）      ☐ 架空              ☐ 地中  
 引込（通信）      ☐ 架空              ☐ 地中  
 受電方式      ☐ 低圧受電（ ☐ 電灯      ☐ 動力）  
                  ☐ 高圧受電      \_\_\_\_\_ K V  
  
 受電設備      ☐ 非常電源専用受電設備  
                  ☐ 屋内              ☐ 屋外  
                  ☐ キュービクル式      ☐ 高圧スイッチギア  
 変圧器      単相      計      \_\_\_\_\_ K V A  
                  三相      計      \_\_\_\_\_ K V A  
  
 自家発電装置      種別      ☐ ディーゼル機関  
    ☐ ガス機関  
    ☐ ガスタービン機関  
                  発電機出力      \_\_\_\_\_ K V A  
                  燃料      ☐ 軽油              ☐ A重油  
                                  ☐ 灯油              ☐ 燃料ガス  
  
 その他発電装置      ☐ 燃料電池発電装置  
                          ☐ 太陽光発電装置  
                          ☐ 風力発電装置  
  
 直流電源装置      ☐ 鉛蓄電池              ☐ C S 形  
    ☐ P S 形  
    ☐ M S E 形  
    ☐ 長寿命M S E 形  
    ☐ H S E 形  
                  ☐ アルカリ蓄電池      ☐ ポケット式  
    ☐ 焼結式  
    ☐ 焼結式シール形  
  
 直流電源装置の用途      ☐ 受変電機器制御電源      ☐ 非常用照明  
  
 U P S 装置      ☐ 常時インバータ給電方式簡易形  
                  ☐ 常時インバータ給電方式  
                  ☐ ラインインタラクティブ方式  
                  ☐ 常時商用給電方式  
  
 U P S 装置の用途      ( \_\_\_\_\_ )  
  
 照明制御装置      ● 人感センサ  
                  ☐ 明るさセンサ              ☐ タイマ  
                  ☐ その他      ( \_\_\_\_\_ )

幹線設備	電灯	<input type="radio"/> 単相3線式200/100V 50Hz
	動力	<input type="radio"/> 三相3線式200V 50Hz
電熱設備	ロードヒーティング	<input type="radio"/> 単相100V <input type="radio"/> 単相200V <input type="radio"/> 三相200V
	フロアヒーティング	<input type="radio"/> 単相100V <input type="radio"/> 単相200V <input type="radio"/> 三相200V
雷保護設備	受雷部	<input type="radio"/> 突針 <input type="radio"/> 水平導体又はメッシュ導体
	引き下げ導線システム	<input type="radio"/> 引下げ導線 <input type="radio"/> 構造体利用引下げ導線
構内情報通信網設備	インタフェース	<input type="radio"/> 100BASE-TX <input type="radio"/> 1000BASE-T <input type="radio"/> その他 (                      )
	機器	<input type="radio"/> L2スイッチ <input type="radio"/> L3スイッチ <input type="radio"/> ルーター <input type="radio"/> その他 (                      )
構内交換設備	交換装置	<input type="radio"/> デジタルPBX <input type="radio"/> ボタン電話装置 <input type="radio"/> IP-PBX <input type="radio"/> VoIPサーバー
	実装数/容量数	局線数 <u>          </u> / 内線数 <u>          </u> /
	電話機	<input type="radio"/> 一般形 <input type="radio"/> 多機能形 <input type="radio"/> 停電用 <input type="radio"/> IP電話機
情報表示設備		<input type="radio"/> マルチサイン装置 <input type="radio"/> 出退表示装置 <input type="radio"/> 時計表示装置    出力回線数 <u>          </u> 回線
映像音響設備		<input type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
拡声設備		<input type="radio"/> Hi形増幅器    増幅器容量 <u>          </u> W <input type="radio"/> 一般放送用 <input type="radio"/> 非常放送用 <input type="radio"/> 遠隔操作器 <u>          </u> 箇所
誘導支援設備		<input type="radio"/> 音声誘導装置 <input type="radio"/> インターホン その他機器 <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">[</span> <input type="radio"/> テレビインターホン <input type="radio"/> 外部受付用インターホン <input type="radio"/> トイレ等呼出装置 <input type="radio"/> 受付呼出装置 <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">]</span>
テレビ共同受信設備	アンテナ	<input type="radio"/> UHF・VHF <input type="radio"/> BS・110°CS <input type="radio"/> CS

## 火災報知設備

### (1) 自動火災報知設備

受信機 \_\_\_\_\_ 形 \_\_\_\_\_ 級 \_\_\_\_\_ 回線

- ☐ 単独盤      ☐ 複合盤  
☐ 壁掛形      ☐ 自立形

副受信機 \_\_\_\_\_ 台 \_\_\_\_\_ 回線

- ☐ 自動試験機能      ☐ 遠隔試験機能  
☐ G P 型 3 級受信機 (住戸内)

発信機 \_\_\_\_\_ 形 \_\_\_\_\_ 級      ☐ 組込形      ☐ 露出形

警報ベル      ☐ 露出形      ☐ 組込形

総合盤      ☐ 単独 (      ☐ 露出      ☐ 埋込)

☐ 消火栓箱組込形      (消火栓箱は別途工事)

### (2) 自動閉鎖設備

自動閉鎖装置連動制御器      ☐ 単独盤      ☐ 複合盤

### (3) 非常警報設備

- ☐ 一体型      ☐ 複合型  
☐ その他 (      ☐ 非常ベル      ☐ 表示灯      ☐ 起動装置)

### (4) ガス漏れ警報設備

施工の範囲      ☐ 配管      ☐ 配線

☐ 基台 (警報機は別途)

基台は警報出力接点付き、アダプター付きとする。

ガス種別      ☐ L P G      ☐ 都市ガス

### 中央監視装置

- ☐ 警報盤  
☐ 簡易型監視制御装置  
☐ 監視制御装置

### 防犯入退室 管理設備

- ☐ センサ      ☐ マグネットスイッチ  
☐ バイブレーションスイッチ  
☐ パッシブセンサ  
☐ 制御部      ☐ キースイッチ  
☐ 暗証番号入力装置  
☐ 磁気カード  
☐ I C カード  
☐ 機器類は施設管理者リース品である。

### 外灯設備

☐ 架空      ☐ 地中

ポール種別

- ☐ 鋼製塗装      ☐ アルミ      ☐ 溶融亜鉛メッキ塗装  
☐ 埋込式      ☐ ベースプレート式

ランプ

- ☐ L E D  
☐ その他 ( \_\_\_\_\_ )

点滅方式

- ☐ 自動式 (      ☐ 自動点滅器      ☐ タイマ )  
☐ 手動式

### 電波障害防除設備

施工方法      ☐ 架空配線式      ☐ 地中配線式

☐ アンテナ対策      ☐ C A T V

受信点

- ☐ 当該施設のテレビアンテナより分岐  
☐ 新設  
☐ 既設電波障害防除施設より分岐

	<p>【道営住宅】</p> <p>水道集中検針設備 (別途工事の水道集中検針設備に係る工事)  集中検針盤 ○ 本工事 ○ 別途工事</p> <p>集中給油設備 (別途工事の集中給油設備に係る工事)  集中検針盤 ○ 本工事 ○ 別途工事</p> <p>緊急通報設備  ○ 主監視盤 _____ 窓 ○ 副監視盤 _____ 窓  電話回線使用 ○ 有り ○ 無し  外部通報 ○ 有り ○ 無し</p>
--	--

●	電気設備共通事項
---	----------

項 目	特 記 事 項							
<div>▷ 1. 電気保安技術者</div> <div>▷ 2. 諸手続</div> <div>▷ 3. 試運転調整</div> <div>▷ 4. 足場及び橋類</div> <div>▷ 5. 交通誘導警備員</div>	<p>電気主任技術者を補佐し、工事監督員の承諾を受け電気工作物の保安業務を行う電気保安技術者をおくこと。</p> <p>本工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、受注者が代行し速やかに行い、費用は全て受注者の負担とする。</p> <p>この工事に必要な試運転調整の費用は全て受注者の負担とする。</p> <p>別契約の関係受注者の定置する足場、栈橋の類は、無償で使用できる。</p> <p>建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を図ること。</p> <p>なお、交通誘導警備員の区分、配置位置及び設置日数は、次による。</p> <p>区分： ○ 交通誘導警備員A ○ 交通誘導警備員B</p> <p>位置：図面による。</p> <p>警備員詰所：( ○ 設ける ○ 設けない)</p> <p>表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分の考え方</p> <table border="1"> <tr> <th>工事現場の出入り口を設ける道路（路線）</th><th>交通誘導警備員区分</th></tr> <tr> <td>市街地（DID）内の路線</td><td rowspan="2">交通誘導警備員A</td></tr> <tr> <td>北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線</td></tr> <tr> <td>上記以外の路線</td><td>交通誘導警備員B</td></tr> </table> <p>本工事に必要な工事用動力、照明、用水費等は受注者の負担とする。</p> <p>使用する機材は「北海道建設部建築局建築整備課令和 _____ 年度版設備機材等指定名簿」による。</p> <p>次の機器は原則、工事監督員立会のもとに工場検査を行うこと。</p> <p>( _____ )</p> <p>図中参考図の寸法は概略寸法とする。</p> <p>共通事項特記仕様書による。</p> <p>J B R Cの回収システムを利用すること。</p> <p>製造者へ引き渡すこと。</p> <p>(1) 次に示した数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。</p> <p>(2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることができる。</p>	工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分	市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A	北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線	上記以外の路線	交通誘導警備員B
工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分							
市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A							
北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線								
上記以外の路線	交通誘導警備員B							
<div>▷ 6. 工事用動力水等</div> <div>▷ 7. 使用機材等</div> <div>▷ 8. 製品の検査</div> <div>▷ 9. 参考図</div> <div>▶ 10. 発生材の処理</div> <div>▷ 11. 小型2次電池の処理</div> <div>▷ 12. イオン化式感知器の処理</div> <div>▷ 13. 概数等発注</div>								

(3) 概数として取り扱っている事項の施工に当たっては施工前に工事監督員と協議すること。

なお、数量の確認ができない場合を除き、施工前に数量を確定すること

(4) 概数

7. 工事数量総括表細目別内訳又は別紙明細の備考欄に「概数」又は「概」と表示された項目・数量

イ. 次の項目・数量

区 分	設計数量（単位）		確定数量（単位）	
	積込・運搬量	処分量	積込・運搬量	処分量

▷ 14. 耐震措置

「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（日本建築センター発行）に基づき、耐震施工を行う。（100kgを超える機器については、計算書を提出すること）

○ 一般の施設      ○ 特定の施設      ○ 甲類      ○ 乙類

▷ 15. 防災電源（非常電源）

次の設備は防災電源（非常電源）として関係法令等に適合したものであること。

○ キュービクル等      ○ 蓄電池      ○ 発電装置

▷ 16. 配分電盤・端子盤類

図中に特記がある場合、及び住戸内を除き「電気設備工事（配・分電盤等）標準仕様書 北海道建設部建築局建築整備課令和 年版」を適用する。

▷ 17. 塗装工事

金属管の塗装箇所      \* 無し  
○ 有り（ ）

▶ 18. 電線及びケーブル

環境配慮形を使用することを原則とする。

▷ 19. 位置ボックス

図面に特記がある場合を除き標準仕様書の使用区分による。

○ 気密処理を行う。

▷ 20. 配線器具用プレート

図中に特記がない場合は下記による。

住戸内      ○ 合成樹脂製  
その他      ○ アルミ合金製      ○ 合成樹脂製  
○ ステンレス製      ○ ネジ止め

▷ 21. フロアプレート

床ボックスに取付のもの（二重床を除く）は水平高低調整形プレートを用いる。

▷ 22. つりボルト

床下ピット等の湿気のある場所に使用するつりボルトは垂鉛メッキ又はステンレス製とする。

▷ 23. ボルト・ナット等

屋外又はそれに類する場所で使用するボルト、ナット等は垂鉛メッキ又はステンレス製とする。

▷ 24. プルボックス

天井内隠蔽部分及び高所取付のプルボックスの蓋に用いるビスは脱落防止ビスとする。

▷ 25. 結露防止	(1) 断熱材は可能な限り欠損させないこと。ただしこれによりがたい場合は、同等以上の処理を行う。
▷ 26. 呼び線	(2) 断熱処理箇所使用するインサートは断熱インサートとする。 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。

○	電力設備工事
---	--------

項 目	特 記 事 項																																
▷ 1. フロアコンセント	床： ○ アップ形 ○ プラグ収納形 ○ 上下可動形 ○ ハイテンションアウトレット 床（○Aフロア）： ○ アップ形 ○ プラグ収納形 ○ ハーネス式 材質： ○ アルミ合金 ○ 銅合金 ○ 樹脂 床（ステージ）： ○ プラグ収納形（アルミ合金鋳物プレート製）																																
▷ 2. タンブラスイッチ	○ 大角形連用 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ） ○ ワイドハンドル形 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ） 道営住宅階段用は位置表示灯付きとする。																																
▷ 3. コンセント	特殊コンセントは表示及びプラグ付きとする。 ○ 大角形連用 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ） ○ ワイド形 （ ○ 住戸内 ○ ） ○ 単一形 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ）																																
▷ 4. 住戸内分電盤 【道営住宅】	住戸内の分電盤は、樹脂製とし、リミッタースペース付き、中性線欠相保護機能付き、過電流保護機能付きとする。																																
▷ 5. インバータ装置の 規約効率	三相可変速電動機用インバーター装置の規約効率は、原則として下表の数値以上とする。 <table><tr><td>電動機出力(kW)</td><td>0.4</td><td>0.75</td><td>1.5</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>5.5</td><td>7.5</td></tr><tr><td>インバ-タ効率(%)</td><td>85.0</td><td>87.0</td><td>88.5</td><td>89.5</td><td>90.0</td><td>90.5</td><td>91.0</td></tr></table> <table><tr><td>電動機出力(kW)</td><td>11</td><td>15</td><td>18.5</td><td>22</td><td>30</td><td>37</td><td>45</td></tr><tr><td>インバ-タ効率(%)</td><td>91.5</td><td>92.0</td><td>92.5</td><td>93.0</td><td>93.5</td><td>94.0</td><td>94.5</td></tr></table>	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	インバ-タ効率(%)	85.0	87.0	88.5	89.5	90.0	90.5	91.0	電動機出力(kW)	11	15	18.5	22	30	37	45	インバ-タ効率(%)	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5
電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5																										
インバ-タ効率(%)	85.0	87.0	88.5	89.5	90.0	90.5	91.0																										
電動機出力(kW)	11	15	18.5	22	30	37	45																										
インバ-タ効率(%)	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5																										
▷ 6. 雷保護設備適用規格	・電動機の供給電圧は200V又は400V ・インバータ効率は100%負荷時の効率 ○ J I S A 4 2 0 1 : 2 0 0 3 保護レベル ○ I ○ II ○ III ○ IV ○ J I S A 4 2 0 1 : 1 9 9 2																																
▷ 7. 幹線 【道営住宅】	○ プレハブケーブル ○ EM-CEケーブル ○ I E																																
▷ 8. 接地極	A種・B種・C種接地は銅板（900×900×1.5t）とし、それ以外の接地は銅又は銅覆鋼製接地棒とする。 (2) 接地極上端の埋設深さは、凍結深度以上とする。ただし、凍結深度0.75m未満の場合は、埋設深さを0.75mとする。																																

▷ 9. 接地極埋設標	形状は、140H×90W×1.0tとし、文字は刻記、腐食加工とし、設置者名は「北海道」とする。 材質はステンレス製とする。
▷ 10. 分電盤等の予備配管	予備の配線用遮断器が4個以下の場合は、(PF22)相当を1本以上、5個以上の場合は、(PF22)相当を2本以上を二重天井内まで立ち上げるものとする。ただし、シャフト内は適用しない。
▷ 11. 電動機等への接続	別途工事の電動機等への配線接続は本工事とする。
▷ 12. 住戸内の屋内配管及びボックス	○ 内装プレハブ (該当箇所の配管及びボックスについて、専門業者と協議すること。) ○ 内装在来工法

○	発電設備工事
---	--------

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 主燃料槽	「危険物規制に関する技術上の基準の細目を定める告示」によるほか所轄消防署が承認したものとする。 ○ 本工事                      ○ 別途工事
▷ 2. 防油堤	

○	通信・情報設備工事
---	-----------

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 情報用アウトレット	壁：    ○ モジュラジャック 床：    ○ アップ形              ○ プラグ収納形              ○ その他 床(○Aフロア)：    ○ アップ形              ○ プラグ収納形 材質： ○ アルミ合金      ○ 銅合金              ○ 樹脂
▷ 2. 電話用アウトレット	
▷ 3. 電波障害防除設備工事の留意事項等	



○	構内配電線路設備 構内通信線路設備
---	----------------------

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 地中線埋設標 ▷ 2. 標識シート ▷ 3. ケーブル標識 ▷ 4. 高圧柱上機器仕様 ▷ 5. 高圧ケーブルの屋外端末処理仕様 ▷ 6. 端末処理者銘板 ▷ 7. ハンドホール ▷ 8. ケーブル保護管 ▷ 9. 外灯遮断方式 ▷ 10. 外灯金属部の接地 ▷ 11. 土工	<p>形状は140H×90W×1.0tとし、文字は刻記、腐食加工とし、管理者名は「北海道」とする。</p> <p>材質はステンレス製とする。</p> <p>(1) シートは、繊維補強付樹脂シートとし、2倍以上重ね合わせ、電圧（通信線路は用途）及び埋設年を表示する。</p> <p>(2) 埋設シートを設ける範囲は次による。</p> <p>○ 高圧又は特別高圧      ○ 低圧      ○ 通信線路</p> <p>高圧用・低圧用；    コンクリート製（80角×300）の頂部に矢印（赤）を刻印したもの。</p> <p>通信用；    コンクリート製（80角×300）の頂部に矢印（黄）を刻印したもの。</p> <p>鉄製（舗装面用）；25φ</p> <p>7.2 KV      A</p> <p>○ 耐塩形      ○ 重耐塩形      ○ 過電流ロック付</p> <p>○ 地絡保護装置付      ○ 密閉形</p> <p>○ 耐塩形      ○ 重耐塩形</p> <p>屋内外とも、高圧ケーブルの端末処理者銘板を取り付けること。</p> <p>ハンドホールにケーブル支持金物（亜鉛メッキ軽量形鋼同等品）を2本以上取り付け、接地する。（低圧を除く）</p> <p>内外面溶融亜鉛めっき厚鋼電線管とする。（土中は防食テープ巻き）</p> <p>外灯ポール内には配線用遮断器（防水仕様）を設置する。</p> <p>ポールごとに接地極を設置する。</p> <p>発生土等の処理</p> <p>○ 構外搬出（約      km）</p> <p>捨て場所（      ）</p> <p>捨て土ならし      ○ 有り      ○ 無し</p> <p>○ 構内敷ならし      ○ 構内指示場所に堆積</p> <p>埋め戻し</p> <p>○ 掘削土の良質土      ○ （      ）</p> <p>管周囲の保護</p> <p>○ 山砂      ○ 掘削土の良質土</p>

●	機器取り付け高さ
---	----------

項	目	特 記 事 項		
▷ 1. 機器の取付高さは図示のほか下記を標準とする。				
【一般建物】				
	名 称	測 定	取 付 高 (mm)	
共 電 通 力	取引用計器	地上～窓中心	1, 8 0 0～2, 0 0 0	
	引込開閉器	床上～中心	1, 8 0 0	

電 灯	分電盤	〃	1, 500 (上端1, 900以下)
	スイッチ	〃	1, 150
	コンセント (一般)	〃	500
	〃 (和室)	〃	200
	〃 (台上)	台上～中心	150
	〃 (土間)	床上～中心	800～1, 300
	ブラケット (一般)	〃	2, 100～2, 500
	〃 (踊場)	〃	2, 500
	〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150
動 力	壁掛形制御盤	床上～中心	1, 500 (上端1, 900以下)
	開閉器箱	〃	1, 500
	操作スイッチ	〃	1, 300
電 話	端子盤	床上～下端	500
	保安器箱	床上～中心	2, 000
	壁付位置ボックス	〃	500
	〃 (和室)	〃	200
	壁付インターホン	〃	1, 150
	壁付位置ボックス	〃	1, 150
	〃 (和室)	〃	200
時 計 拡 声	壁掛形親時計	〃	1, 500 (上端1, 900以下)
	子時計	〃	2, 300
	壁掛形スピーカ	〃	2, 300
	アッテネーター	〃	1, 150
表 示	表示盤	〃	2, 300
	壁付発信器	〃	1, 150
	ベル・ブザー・チャイム	〃	2, 300
	壁付ボタン	〃	1, 150
	多目的便所呼出ボタン	〃	1, 000
テ レ ビ 受 信	分配器箱	床上～上端	1, 900
	テレビアウトレット	床上～中心	500
	〃 (和室)	〃	200
	収容箱	床上～上端	1, 900
火 災 報 知	受信機・副受信機	床上～中心	1, 500
	総合盤	〃	1, 300
	発信機	〃	1, 300
	電鈴	〃	2, 300

【道営住宅】

	名 称	測 定	取 付 高 (mm)
電 灯	分電盤 (共用等)	床上～中心	1, 500～2, 100
	分電盤 (住戸用一般)	〃	1, 650
	分電盤 (住戸用 車いす対応)	〃	1, 200
	スイッチ	〃	1, 000
	コンセント (一般)	〃	400
	〃 (和室)	〃	300
	〃 (台上)	台上～中心	150
	〃 (冷蔵庫用)	床上～中心	1, 800
	〃 (給湯器・洗面台用)	〃	1, 300
	ブラケット (一般)	〃	2, 100～2, 500
	〃 (踊場)	〃	2, 500

電話	壁付位置ボックス	床上～中心	400
	〃 (和室)	〃	300
表示	壁付発信器	〃	1,000
	ベル・ブザー・チャイム	〃	1,900～2,300
	多目的便所呼出ボタン	〃	1,000
インターホン	壁付インターホン	〃	1,000
	壁付位置ボックス	〃	1,000
共同テレビ受信	テレビアウトレット	〃	400
	〃 (和室)	〃	300
火災報知	受信機	床上～操作部	800～1,500